

# 平成29年度 大館市立第一中学校 学校評価書( 前期・年度 )

## A 学校教育目標

深く考え自己を磨き未来をたくましく生きる生徒の育成

## B 本年度の重点目標

◇将来を支える「あいさつ」を鍛え、人をつなぐ「言葉」を大切に、地域に「貢献」する学校づくり

## C 学校経営の方針と具体的な取組

### (1) 明るい笑顔 さわやかなあいさつ 楽しい学校づくり

- ・心の通う「あいさつ」「笑顔」の日常実践と校外活動での実践
- ・行事への取組を生かし、高まり合える集団づくり
- ・生徒と生徒、生徒と教師のよりよい人間関係づくり

### (2) 分かる・できる、話す授業づくり

- ・みんなでつくり授業、みんなでゴールする授業
- ・基礎的基本的な内容の定着とさらに伸ばす授業、学習形態の工夫
- ・加配を活用した個に応じた指導の充実
- ・教科相談、家庭学習の充実、教科MVPの取組
- ・主体的な学習の推進、自己有用感の高揚、思考力・判断力・表現力の育成

### (3) ふるさとキャリア教育の推進

- ・職場体験、鳳雛講座、結晶祭の継続と充実
- ・五大祭を核としたキャリア体験
- ・地域社会との連携、学校報・HPIによる情報の発信

### (4) 生徒指導の充実、人を思いやる心づくり

- ・学級活動、道徳授業による人間関係・ルールづくり
- ・生徒との日常的な触れ合いをベースにした生徒指導
- ・いじめ・不登校対策委員会を機能させた個別の対策
- ・教育相談体制の充実、生徒支援担当者を中心とした各専門機関

### 平成29年度前期の主な行事・出来事

- 4月 6日 平成29年度スタート 新任式・始業式 翌7日には141人の新入生を迎えて入学式  
 4月15日 PTAスタート 第1回PTA授業参観・PTA総会・学年PTA・学級懇談  
 4月22～23日 大北春季総体(バレー男子・バスケット男子・剣道女子・テニス女子 準優勝)  
 5月 1日 開校70周年記念集会・全校鳳雛講座(講師:大館市長 福原淳嗣 氏)  
 5月 7日 体育祭  
 5月23～25日 3年:修学旅行(東京) 2年:職場体験学習(秋田市) 1年:大館探訪(市内)  
 6月15日 大北総体激励会 第1回学校評議員会  
 6月17～18日 大北総体(柔道男子・テニス女子優勝, バスケ男子準優勝)  
 6月30日 一中学区小・中連携研究会  
 7月 5日～ 第1回小・中合同あいさつ運動実施  
 7月 9日 県北吹奏楽コンクール 銀賞  
 7月13日 県中学校放送コンテスト(入選:芳賀粋, 江幡円香, 渡部颯汰, 藤沼ゆう, 巻心優)  
 7月18日 全県総体  
 (陸上 女子100mH1位 二田結希, 女子1年1500m1位 武田桜・4位 片岡春薫, 女子共通4×100mリレー3位)  
 (卓球 男子個人3位 久留嶋勇斗)(水泳男子 背泳ぎ100m3位・200m2位 盛大海, バタフライ200m4位 根本沙風)  
 (水泳男子400mメドレーリレー5位) 以上、東北大会へ  
 8月16日 大文字踊りに約220人の生徒・職員が参加  
 8月19日 科学の甲子園ジュニア秋田県大会 特別賞  
 8月26日 大北新人総体水泳大会(男子 総合優勝)  
 8月28日～ 第2回小・中合同あいさつ運動実施  
 9月10～11日 大館神明社例祭に生徒約120人が参加  
 9月16～17日 大北新人総体(柔道男子・野球・卓球男子・テニス女子優勝, 剣道男子・バレー男子準優勝)  
 9月23日 PTA親子窓ふきボランティア  
 9月29日 合唱祭  
 10月 1日 県中学校放学期陸上競技大会(女子1年1500m1位 武田桜・800m1位 片岡春薫)  
 10月 1日 一中祭  
 10月 7日～9日 きりたんぼ祭り 会場ボランティアに生徒多数参加  
 10月24日 後期生徒会発会式  
 11月 7日 新入生一日体験入学  
 11月11日 県中学校新人駅伝競走大会 女子優勝  
 11月13日～15日 球技大会  
 11月22日 結晶祭  
 11月30日 ブルーリボン集会(SNSの利用の仕方)  
 12月15日 PTA授業参観(全学年)・学年PTA(1, 2年)  
 12月23日 アンサンブルコンテスト北鹿大会(管楽4重奏 金賞、県大会へ)



合唱祭(気迫と調和の全校合唱)

D 評価

ア 生徒の 状況	自己評価Aと外部評価の区分	きわめて良好 良好 おおむね良好 やや不十分 努力を要する	自己評価Bの評価基準	5 実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成 4 実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成 3 実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成 2 実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成 1 実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成
----------------	---------------	---	------------	---

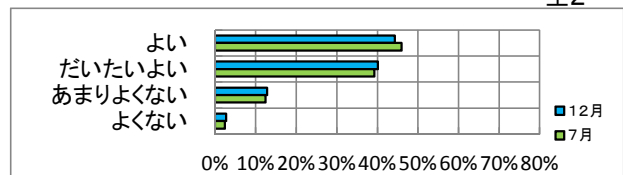
I 自主的・自律的な生活

児童生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
明るく心のもった挨拶をし規律ある落ち着いた生活を送りながら主体性や責任感を育もうとしている。	前期 おおむね良好 年度 おおむね良好	おおむね良好 良好	生徒は全体的に元気なあいさつができています。地域でもあいさつができるよう、引き続きいろいろな方法を工夫しながら取組をお願いしたい。 学校生活全般において協力して自分の役割を果たしている。これからも良いところを褒めて、楽しい学校生活を送れる手段を講じてほしい。
善要自 業と己 学評 校価 のの 改概	<p>【前期(一年度)】〇生徒会や部活動ごとのあいさつ運動により、全体的に明るく元気なあいさつができるようになってきている。また、今年度から全員専門委員会に所属することに決め、集団への所属感を高め役割に責任をもって取り組めるようにしている。今後は、道徳や学活、朝・帰りの会を通して、活動の意味を考える場面を作ったり、個別指導を充実させることで、主体的に活動できるよう支援していきたい。</p> <p>【年度(次年度)】〇アンケートの結果から、学級や学年集団に適應し、ルールを守りながら生活している生徒が多いことが分かった。この周囲と協力して活動できている生徒も7月より大きく増加した。〇気持ちのよいあいさつをする生徒が増えている。生徒のあいさつの良さを認め、様々な集団でのあいさつ運動を継続することでさらなる向上を図りたい。</p>		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
1 基本的な生活習慣	(1)校内外における明るく元気な挨拶 (2)時間やきまりを守った生活	あいさつ運動、学級活動、生徒会活動、教師の率先垂範 生徒会活動、学級活動、規則正しい生活の意識付け	3	3
2 集団生活	(3)「共生」を意識した生活	集団活動、集会活動、学級活動、「共生」の意識付け	3	3

〔1 基本的な生活習慣〕 調査結果 12月←7月 ※( )内は昨年同月調査

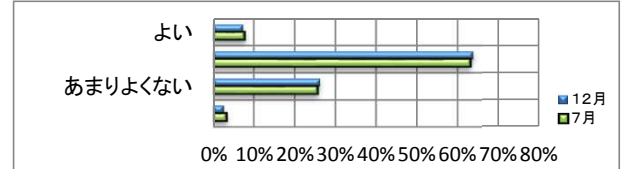
生1 ○あなたは、明るく元気に挨拶していますか。  
よい 41%←39(35) だいたいよい 50%←50(53)  
あまりよくない 8%←9(10) よくない 1%←1(2)



生2 ○あなたは、地域の人に挨拶をしていますか。  
よい 44%←46(35) だいたいよい 40%←39(43)  
あまりよくない 13%←12(18) よくない 3%←2(3)

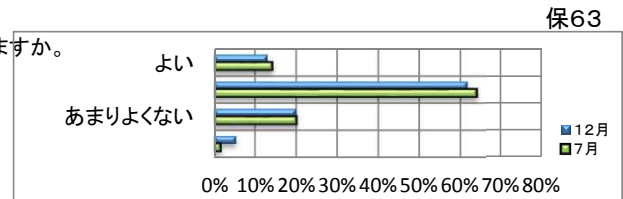
保61 □あなたのお子さんは、明るく元気に挨拶していると思いますか。  
そう思う 24%←23(22) だいたいそう思う 56%←57(60) あまりそう思わない 17%←18(16) そう思わない 3%←2(2)

保62 □生徒たちが明るく元気に挨拶している学校だと思いませんか。  
そう思う 7%←8(6) だいたいそう思う 64%←63(65) あまりそう思わない 26%←26(25) そう思わない 3%←3(4)

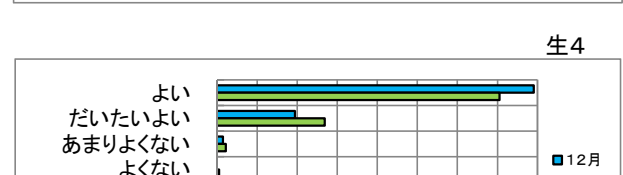


生3 ○あなたは、時間やきまりを守って生活していますか。  
よい 52%←46(44) だいたいよい 41%←48(45)  
あまりよくない 6%←5(9) よくない 1%←1(2)

保63 □あなたのお子さんは、規律ある生活習慣を身に付けていると思いますか。  
そう思う 13%←14(13) だいたいそう思う 62%←64(62)  
あまりそう思わない 20%←20(20) そう思わない 5%←2(4)

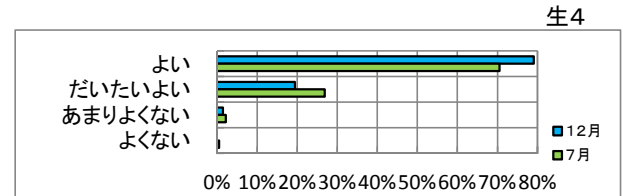


保64 □生徒たちが時間やきまりを守って生活している学校だと思いませんか。  
そう思う 11%←18(7) だいたいそう思う 79%←75(82)  
あまりそう思わない 9%←6(10) そう思わない 1%←1(1)



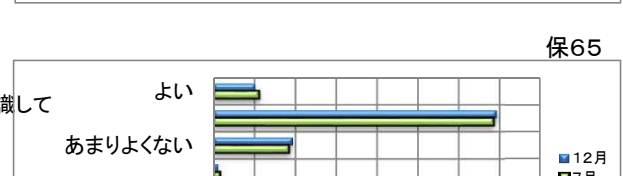
〔2 集団生活〕 調査結果12月←7月 ※( )内は昨年同月調査

生4 ○あなたは、係活動や当番活動、自分の役割などに、みんなと協力して取り組んでいますか。  
よい 79%←71(63) だいたいよい 19%←27(33)  
あまりよくない 1%←2(3) よくない 0%←0(1)

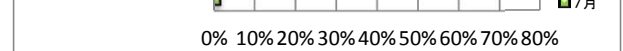


生5 ○あなたは、清掃に進んで取り組んでいますか。  
よい 67%←63(59) だいたいよい 31%←33(36)  
あまりよくない 2%←3(5) よくない 0%←0(1)

生6 ○あなたは、クラスの友だちと仲良く生活していますか。  
よい 78%←72(69) だいたいよい 19%←25(27)  
あまりよくない 2%←2(3) 思わない1%←0(1)



保65 □生徒たちが「共生」(思いやり、互いに生きる、支え合い)を意識して生活している学校だと思いませんか。  
そう思う 10%←11(7) だいたいそう思う 69%←69(74)  
あまりそう思わない 19%←19(16) そう思わない 1%←2(3)



## ア 生徒の状況

### Ⅱ 思いやりの心・たくましい心

児童生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
互いに認め合い、切磋琢磨し合いながら安心した学校生活を送り豊かな人間性を育もうとしている。	前期	おおむね良好	学級内の良好な人間関係を広げる取組を進めて、学級の中で生徒同士が関わり合い、所属感が高まるようにしてほしい。
	年度	おおむね良好	五大祭を中心とした学校行事への参加態度、充実感は素晴らしい。道徳の時間やエンカウンターを通して、人との接し方について、さらに心を育ててほしい。
善業と自己評価の改欄	<p>【前期(一年度)】○五大祭を中心とした行事は、仲間と力を合わせて共に成功させた感動を味わう「豊かな体験」となっている。体育祭では、多くの生徒が達成感を味わうことができたが、中でも、3年生が後輩に応援の仕方を教える異年齢集団による活動は、3年生の自主性と責任感を高めた。○「心が和む学校生活」では、学級内での良好な人間関係を広げるためのエンカウンターや、学級への所属感を醸成するための生徒相互の関わり合いについて工夫したい。</p> <p>【年度(一次年度)】○五大祭を中心とした学校行事は、年間を通して、100%に近い割合で肯定的な回答を示している。豊かな体験を通して、さらに自己肯定感や自尊感情の高まりにつなげていきたい。○心が和む学校生活においては、引き続き心地よく生活するための人との接し方について、エンカウンターを通して行っていく。</p>		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
3 豊かな体験活動	(4)仲間と分かち合う五大祭での感動や達成感	見通しのある活動計画、一人一人の支援の充実	4	4
	(5)ふるさとキャリア体験での充実感	社会体験の場や振り返り活動の充実		
4 心が和む学校生活	(6)一人一人の居場所がある楽しい学校	教育相談の充実、いじめ調査の実施と活用	3	3

【3 豊かな体験】※( )内は昨年同月調査  
自己評価※五大祭や体験学習でのキャリア体験の充実感 生徒自己評価結果→  
回答は◎、○、△、▲の4段階  
◎又は○と答えた生徒の割合  
( )内は、昨年の割合

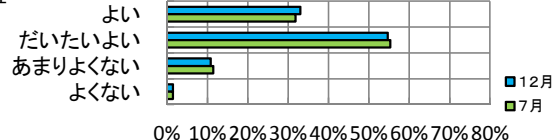
	役割・協力体験	探求・創造体験	勤労・交流体験	表現体験			達成・感動体験
				身体	合唱	言葉	
体育祭	99%(98)	97%(97)	97%(97)	97%(97)			98%(98)
体験学習	99%(99)	98%(97)	99%(97)	99%(98)			99%(99)
合唱祭	99%(97)	99%(98)	99%(98)	98%(99)			99%(99)
一中祭	99%(99)	99%(97)	99%(98)	97%(96)			99%(99)
結晶祭	98%(97)	98%(96)	98%(96)	97%(96)			99%(99)

- 生7 ○あなたは、合唱祭、一中祭、結晶祭に楽しく参加することができましたか。  
よい 82%←86(72) だいたいよい 16%←12(22) あまりよくない 2%←1(5) よくない 0%←1(1)
- 生8 ○体験活動(大文字踊り、神明社例祭、きりたんぼ祭り、鳳雛講座への参加)は、他者や社会とかかわる力を高めたと感じますか。  
そう思う 62%←72(64) だいたいそう思う 34%←25(33) あまりそう思わない 3%←2(2) そう思わない 1%←0(1)
- 保66 □合唱祭、一中祭、結晶祭の内容は十分であったと感じますか。  
そう思う 52%←44(51) だいたいそう思う 44%←52(46) あまりそう思わない 4%←4(2) そう思わない 1%←0(1)
- 保67 □鳳雛講座、轟々講座、各種ボランティア等の体験活動は、他者や社会と関わる力を高めたと感じますか。  
そう思う 39%←48(38) だいたいそう思う 53%←47(56) あまりそう思わない 7%←5(5) そう思わない 1%←1(1)

生9

【4 心が和む学校生活】調査結果 12月←7月 ※( )内は昨年同月調査

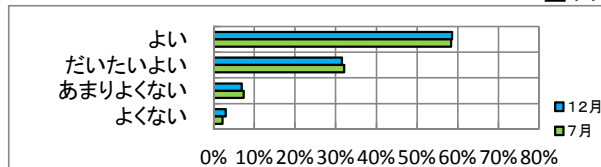
- 生9 ○あなたは、学級や学年、学校がよくなるように考えて行動するよう心がけていますか。  
よい 33%←32(20) だいたいよい 55%←55(59)  
あまりよくない 11%←11(19) よくない 1%←1(1)



- 生10 ○あなたは、様々なことに「やる気」をもって挑戦していますか。  
よい 45%←43(50) だいたいよい 44%←50(52)  
あまりよくない 9%←6(12) よくない 1%←1(1)

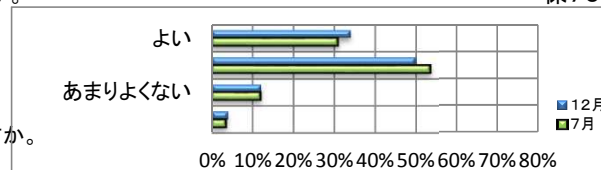
生11

- 生11 ○あなたは、学校での生活が楽しいですか。  
よい 59%←58(50) だいたいよい 32%←32(39)  
あまりよくない 7%←7(10) よくない 3%←2(1)
- 保69 □生徒たちが様々なことに「やる気」をもって取り組んでいる学校だと思いませんか。  
そう思う 14%←13(11) だいたいそう思う 73%←74(73)  
あまりそう思わない 12%←13(16) そう思わない 0%←1(1)



- 保70 □あなたのお子さんは、学校での生活が楽しいと言っていますか。  
そう思う 34%←31(28) だいたいそう思う 50%←53(58)  
あまり思わない 12%←12(11) 思わない 4%←4(3)

保70



- 生22 ○先生たちは、あなたのことをよく理解してくれていると感じますか。  
そう思う 46%←52(38) だいたいそう思う 44%←42(48)  
あまりそう思わない 7%←5(11) 思わない 2%←1(3)
- 保71 □先生たちが、生徒と積極的に関わっている学校だと思いませんか。  
そう思う 21%←19(20) だいたいそう思う 61%←64(66)  
あまりそう思わない 15%←15(11) そう思わない 3%←2(3)

## ア 生徒の状況

### Ⅲ 健康と体力

児童生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント	
食や運動を通じて健康や体力への関心をもち望ましい生活習慣を形成しようとしている。	前期	良好	良好	保健指導や食の指導では、お便りの発行のほかにも行っている啓発活動の効果がえられる。体力づくりを意図した昼休みの体育館利用の呼びかけを継続し、肥満予防対策にもつなげてほしい。
	年度	良好	良好	栄養士や養護教諭の工夫した取組で食への関心、健康への関心が高まっている。徒歩通学を勧めたり、体育館を利用した体力向上等に努めてほしい。
重要項目と自己評価	【前期(→年度)】〇保健だよりを定期的に発行し、健康的な生活について啓発を行うことにより、一定の効果がみられてた。食育については、給食一ロメモを毎日放送し、食への関心を高める効果が出ている。体力テスト結果を活用した体力作りにより一層力を入れていきたい。			
学校評価改観	【年度(→次年度)】〇栄養士の工夫した取組みにより、食への関心は高まっている。体力の向上については、冬場になって徒歩通学のをする生徒が増えたり、また昼休みに体育館を利用する生徒が多かったりと、体力の向上に努めているので、引き続き奨励したい。			

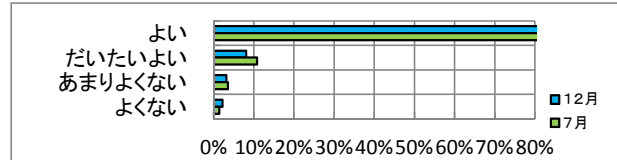
評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
5 食と健康	(7)望ましい食習慣の形成と規則正しい生活	保健委員会・給食委員会による取組、保健だよりや給食だよりによる啓発	4	4
6 体力と気力	(8)継続的な体力づくりの取組	新体力テスト結果を踏まえた授業改善、昼休みの体育館利用の奨励	3	3

〔5 食と健康〕 調査結果 12月←7月 ※( )内は昨年同月調査

生12 ○あなたは、毎日朝食を食べていますか。

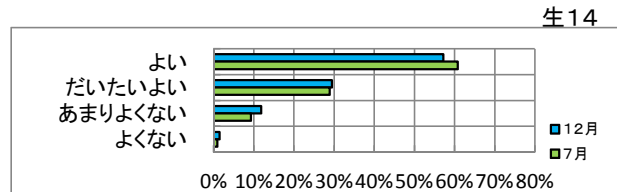
生徒:(グラフ→)

	7月	12月	前年12月
よい	84%	86%	79%
だいたいよい	11%	8%	15%
あまりよくない	4%	3%	4%
よくない	1%	2%	2%



生13 ○あなたは、毎日規則正しい生活をしていると思いますか。

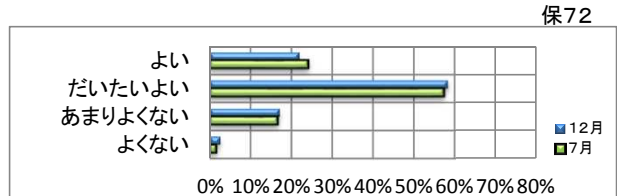
そう思う 30%←27(24) だいたいそう思う 50%←56(51)  
あまりそう思わない 16%←14(21) そう思わない 4%←3(4)



〔6 体力と気力〕 調査結果 12月←7月 ※( )内は昨年同月調査

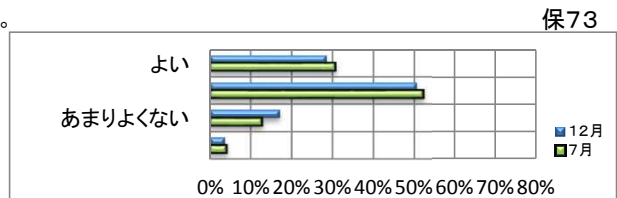
生14 ○あなたは、体力づくりを意識した取組をしていますか。

よい 57%←61(53) だいたいよい 29%←29(31)  
あまりよくない12%←9(14) よくない 1%←1(2)



保72 □あなたのお子さんは、健康面や体力面に注意して生活していると思いますか。

そう思う 22%←24(23) だいたいそう思う 58%←57(61)  
あまりそう思わない 17%←17(15) そう思わない 3%←2(1)



保73 □先生たちは熱心に部活動を指導している学校だと思いますか。

そう思う 28%←31(30) だいたいそう思う 51%←52(57)  
あまりそう思わない 17%←13(10) そう思わない 4%←4(3)

◇新体力テストの各学年男女別得点推移～同一生徒集団の年次毎追跡 ※( )内は県平均

	H29	H28	H27		H29	H28	H27
1年男	36.4	—	—	1年女	46.7	—	—
2年男	45.8	34.6	—	2年女	55.4	47.8	—
3年男	48.4	42	44.6(44.4)	3年女	55.2	53	50.8(50.7)

◇運動部加入状況

H27	男	女	全体
生徒	246	231	477
加入者	212	132	344
割合	86%	57%	72%

H28	男	女	全体
生徒	251	212	463
加入者	190	130	320
割合	76%	61%	69%

H29	男	女	全体
生徒	235	196	431
加入者	174	126	300
割合	74%	64%	70%



**ア 生徒の状況**

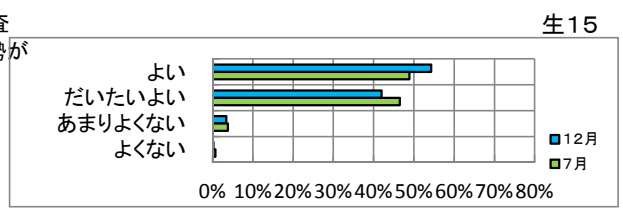
**IV 基礎学力**

児童生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント	
意欲的に授業に臨み基本的学習習慣を形成しながら学力を向上させようとしている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	ヒアリングをした3人の生徒は、いずれも考えを出し合って学びを深める授業に喜びを感じていた。考えを伝える、説明する、認め合う、教え合うなどの活動を授業で取り入れてほしい。
	年度	おおむね良好	おおむね良好	学習に取り組む姿勢はできている。学力の定着のために、個に応じた指導や関わり合って学ぶ学習に力を入れ、全校体制で取り組んでほしい。

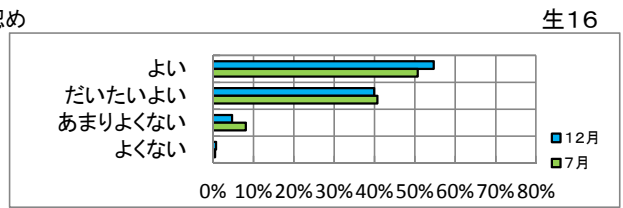
**概要**【前期(一年度)】話し方、聞き方、発表の仕方など、基本的な学習習慣を含め、学習への取組はおおむね良好である。しかし、全体やグループの場合と己で自分の考えを伝えたり、説明したりすることに苦手意識がある生徒が少なくない。また、学力面においては課題があるが、諸調査の出題傾向を細かく分析し、授業のみならず単元テストや定期テストへの活用など、具体的な取組を行うことで改善を図ってきたい。  
**校価**【年度(一学年度)】〇全体的に落ち着いて学習に取り組むことができ、概ね基本的な学習習慣は定着している。しかし、他者との関わりの面で、自分の考えを伝えたり、説明したりすることについては課題が見られる。諸検査の結果から、学力面については課題が残った。確かな学力の定着のために、個に応じた指導や回復学習など、具体的な取組を行っていかねばならない。

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
7 学習への取組	(9)基本的な学習習慣の定着	学習状況カードの活用、家庭学習や週末課題の充実、学習強調週間、教科相談	3	3
8 諸検査の状況	(10)NRT, 学習状況調査等の活用	出題傾向の分析と授業への活用、計画的な回復学習指導	3	3

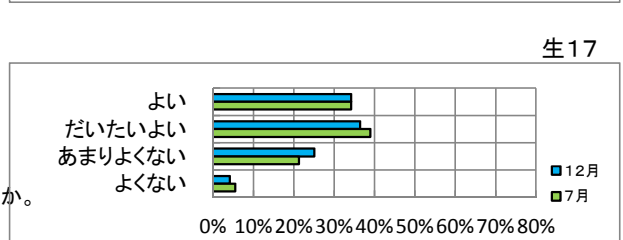
**〔7 学習への取組〕 調査結果 12月←7月 ※( )内は昨年同月調査**  
**生15** ○あなたは、授業中に先生や他の生徒の話をしっかりと聞く姿勢ができていますか。  
 よい 54%←49(50)  
 だいたいよい 42%←47(44)  
 あまりよくない 3%←4(5)  
 よくない 0%←1(2)



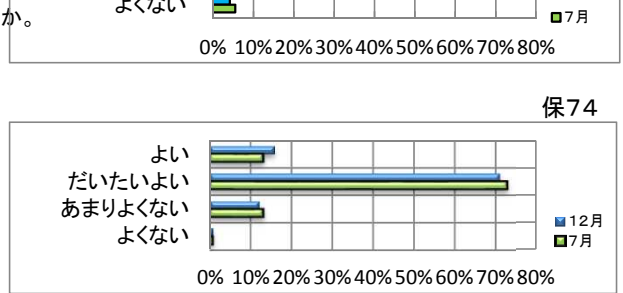
**生16** ○あなたは、授業中に他の生徒の発表や発言などをお互いに認め合ったり、わからないところは教え合ったりしていますか。  
 よい 55%←51(43)  
 だいたいよい 40%←41(43)  
 あまりよくない 5%←8(12)  
 よくない 1%←0(2)



**生17** ○あなたは、授業中に自分の意見や考えを発表していますか。  
 よい 34%←34(27)  
 だいたいよい 36%←39(36)  
 あまりよくない 25%←21(29)  
 よくない 4%←6(8)



**保74** □生徒たちが一生懸命学習に取り組んでいる学校だと思いませんか。  
 そう思う 16%←13(16)  
 だいたいそう思う 71%←73(72)  
 あまりそう思わない 12%←13(11)  
 そう思わない 1%←1(1)



**〔8 諸調査の状況〕**

		県教委学習状況調査(県平均を100としたときの指数)					
		国語	社会	数学	理科	英語	合計
現3年	3年次	※平成20年度から中3については実施せず					
	2年次	107.4	93.1	89.6	103.2	88.7	96.4
	1年次	94.3	84.1	90.9	96.8	97.7	92.7
現2年	2年次	97.8	90.7	87.9	111.9	96.0	96.8
	1年次	99.8	103.5	97.8	96.0	100.3	99.5
現1年	1年次	98.0	101.1	109.3	100.0	95.1	100.6

3年全国学力・学習状況調査(4月)の結果  
 ※全国、秋田県、本校の通過率

	全国	秋田県	本校
国語A	77.4	82.0	79.0
国語B	72.2	78.0	72.0
数学A	64.6	68.0	66.0
数学B	48.1	52.0	49.0
理科			
国語の勉強が好き	60.5	73.7	70.0
数学の勉強が好き	55.4	58.9	62.0
理科の勉強が好き			

イ 学校運営 の状況	自己評価Aと外部評価の評価区分	きわめて良好	自己評価Bの評価基準	5	目指す方向が共通理解され取組も組織的で意識が高く成果も顕著
		良好		4	目指す方向が共通理解され取組も組織的で成果が多く見られる
	おおむね良好	3		目指す方向が明確で一定の取組が行われており成果も見られる	
	やや不十分	2		目指す方向がやや不明確で取組もばらつきがあり成果が安定しない	
	努力を要する	1		目指す方向が不明確で取組体制や取組方に解決すべき課題が多い	

## V 組織運営

学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
教職員が重点目標を意識し主体的かつ組織的に取り組んでいる。	前期	おおむね良好	本校の特色ある取組の鳳雛講座に積極的に取り組んでいることがうかがえた。この項目に関するアンケートで数値の向上が見られたのは、先生たちの努力の結果と考える。自転車乗りを含めた安全指導をさらにお願したい。
	年度	おおむね良好	ふるさとキャリア教育の充実が見られた。共通実践事項に基づいた授業改善の具体的な取組に期待したい。
概要と自己評価の改	<p>【前期(一年度)】〇五大祭や鳳雛講座を核としながらキャリア体験を積み重ね、自己を知り、自己実現につながる進路学習の充実を図る。〇今年度の研究主題に基づいた重点や共通実践事項の共通理解を図るとともに、生徒の実態に応じた授業改善を引き続き行っていく。〇日常生活における生徒との会話等で生徒理解を図り、職員全員で連携しながら積極的な生徒指導を行っていく。</p> <p>【年度(一次年度)】〇本校の特別活動の柱となっている五大祭と鳳雛講座を中心にしながら、さらなる進路学習の充実も図っていききたい。〇研究主題に基づいた重点や共通実践事項に関わる県学習状況調査質問紙の結果は、昨年よりもプラス面の上昇が見られた。来年度も、全職員の共通理解を図り、日々の授業改善に努めていかなければならない。〇学年を超えて情報交換をこまめに行い、生徒理解を図っていききたい。</p>		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
9 特活・進路指導部の取組	(11)ふるさと・キャリア体験の内容の明示と充実	身に付けたい資質・能力・態度の明確化、よりよい人間関係を築く取組(グループエンカウンター等)、3年間を見通した計画的な進路学習	3	3
10 研究・学習指導部の取組	(12)共通実践事項を明確にした授業改善の具体的な推進	共通実践事項による取組(「一中スタディ」の実践、「話し合い活動の指針」の活用)	3	3
	(13)(分かる)+(できる)授業づくり	導入段階の工夫、関わり合って学ぶ場の設定と指導の工夫		
11 生徒指導部	(14)生徒指導の三機能を生かした積極的な生徒指導の推進	生徒指導部報、定例の情報交換、「報連相」の徹底、積極的な生徒との関わり	3	3

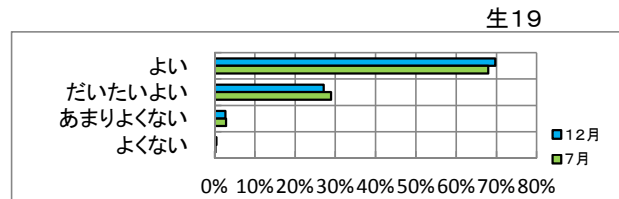
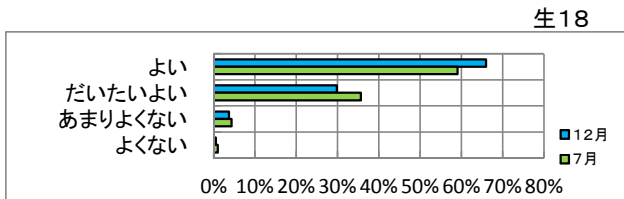
〔9 特活・進路指導部の取組〕 調査結果 12月←7月 ※( )内は昨年同月調査

生18 ○これまで実施した体験や講話等は、あなたにとってためになるものであったと思いますか。

そう思う 66←59(56) だいたいそう思う 30←36(36) あまりそう思わない 4←4(6) そう思わない 0←1(1)

生19 ○学級にとって、活動の振り返りや教室の掲示等は、十分なものであったと思いますか。

そう思う 70←68(60) だいたいそう思う 27←29(35) あまりそう思わない 3←3(3) そう思わない 0←0(1)



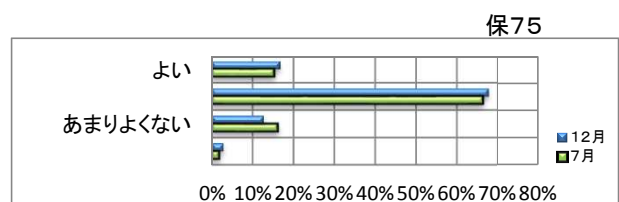
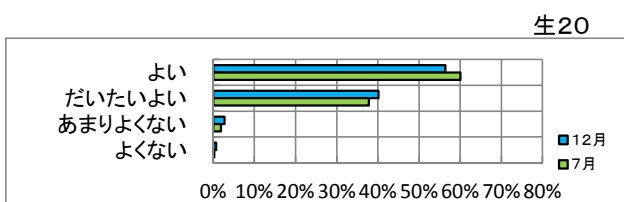
〔10 研究・学習指導部の取組〕 調査結果 12月←7月 ※( )内は昨年同月調査

生20 ○先生たちは、情熱をもって授業を進めてくれていると思いますか。

そう思う 56←60(48) だいたいそう思う 40←38(46) あまりそう思わない 3←2(5) そう思わない 1←0(1)

保75 ○先生たちが、情熱をもって授業を行っている学校だと思いませんか。

そう思う 17←15(16) だいたいそう思う 68←66(70) あまりそう思わない 13←16(12) そう思わない 3←2(2)



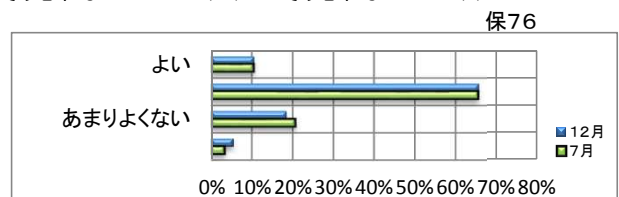
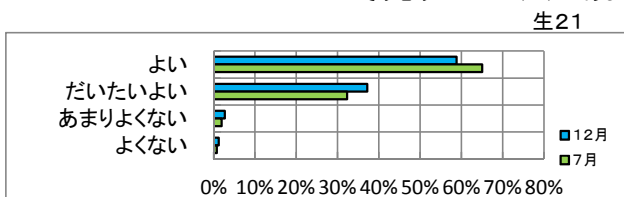
〔11 生徒指導部の取組〕 調査結果 12月←7月 ※( )内は昨年同月調査

生21 ○先生たちは、生徒と積極的に関わってくれている学校だと思いませんか。

そう思う 59←65(51) だいたいそう思う 37←32(41) あまりそう思わない 3←2(6) そう思わない 1←1(2)

保76 ○先生たちは、生徒のことをよく理解してくれている学校だと思いませんか。

そう思う 11←10(1) だいたいそう思う 66←66(66) あまりそう思わない 18←21(21) そう思わない 5←3(4)



## イ 学校運営の状況

### VI 保護者・地域との連携

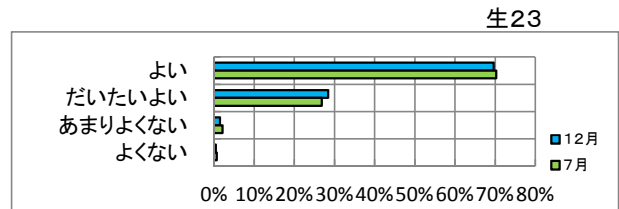
学校の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
学校への理解が浸透し保護者や地域の教育力が生かされている。	前期	良好	良好	保護者との連携を図るために、お便り等で保護者のコメントを取り上げるなどの工夫をぜひお願いしたい。この学区は、地域の教育力があるので今後も有効に活用してほしい。
	年度	良好	良好	保護者のコメントを取り上げるなど、学校報の充実が見られた。地域人材を活用し、地域を愛する諸活動を実践している。
善要自 策と己 学評 校価 のの 改概	<p>【前期(一年度)】○学校報、学年・学級通信、部報などにより、生徒の活躍や学校生活の様子を定期的に保護者に伝えることができた。今後は、保護者の意見や要望をできるだけ早く把握できるよう、情報収集の仕方を工夫したい。○全校体制で地域貢献活動に取り組んで2年目になるが、昨年度と比較して生徒のボランティアに対する意識の高まりと地域へ愛着を感じている生徒の増加が見られる。</p> <p>【年度(一次年度)】○各種通信を定期的に発行し、学校での様子を継続して伝えることができた。前期評価を受け、合唱祭に来場した方々からのメッセージを学校報で紹介した。○教科学習やふるさとキャリア教育において、毎月地域の方々に講師として来校していただき協力を仰ぐことができた。また、地域行事やボランティア活動にはほぼ全員の生徒が1回以上参加した。今後も地域の人と関わる活動への参加を奨励していきたい。</p>			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
12 情報の受発信	(15)学校報や通信等の充実	必要な情報を分かりやすく伝える便り、HPの工夫、校地内掲示板の活用	4	4
13 地域の教育力の活用	(16)地域人材の活用と地域活動の充実(ボランティア活動等)	ふるさとキャリア教育ボランティアの募集、ボランティア活動への参加	4	4
	(17)地域に対する愛着心を高める諸活動の実施	市や地域等の行事への参加、ふるさと学習の充実(大館探訪)		

〔12 情報の受発信〕 (調査結果 7月) ※( )は昨年度同月調査

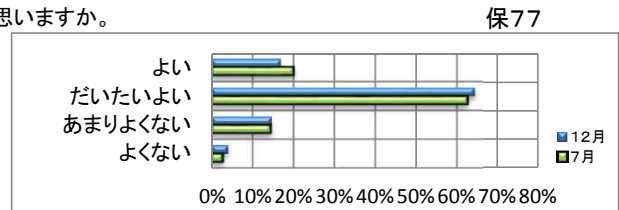
生23 □学校報や学年通信等の内容は十分だと思いますか。

そう思う 70%←70(63)  
 だいたいそう思う 28%←27(33)  
 あまりそう思わない 1%←2(3)  
 そう思わない 0%←1(1)



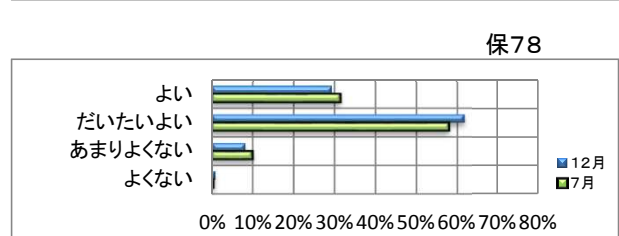
保77 □生徒たちの学校での様子を分かりやすく伝えている学校だと思いますか。

そう思う 17%←20(16)  
 だいたいそう思う 65%←63(64)  
 あまりそう思わない 15%←15(16)  
 そう思わない 4%←3(3)



保78 □学校報や学年通信等の内容は十分だと思いますか。

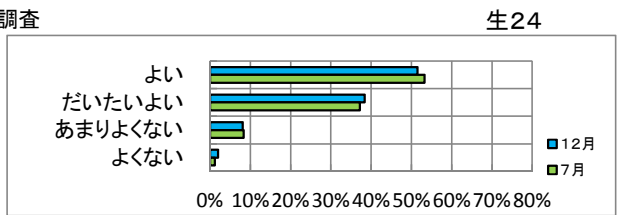
そう思う 29%←31(31)  
 だいたいそう思う 62%←58(60)  
 あまりそう思わない 8%←10(8)  
 そう思わない 1%←1(1)



〔13に関連するデータ〕 調査結果 12月←7月 ※( )内は昨年同月調査

生24 ○あなたは、大館市が好きですか。

そう思う 51%←53(47)  
 だいたいそう思う 38%←37(41)  
 あまりそう思わない 8%←8(8)  
 そう思わない 2%←1(3)



# 平成29年度 学校評価一覽

## 【年度教職員自己評価】

学校名(大館市立第一中学校)

# 大館ふるさとキャリア教育(未来大館市民の育成)

学校の重点目標

【教育目標】 深く考え 自己を磨き 未来をたくましく生きる 生徒の育成

◎将来を支える「あいさつ」を鍛え、人をつなぐ「言葉」を大切に、地域に「貢献」する学校づくり

人間の基礎力・大館市民基礎力・大館市民実践力の育成	評価項目		自己評価A	学校関係者評価	評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B
	I 自主的・自律的な生活	明るく心のこもった挨拶をし規律ある落ち着いた生活を送りながら主体性や責任感を育もうとしている。	おおむね良好	良好	1 基本的な生活習慣	(1) 校内外における明るく元気な挨拶	あいさつ運動、学級活動、生徒会活動、教師の率先垂範	3
				2 集団生活	(2) 時間やきまりを守った生活 (3) 「共生」を意識した生活	生徒会活動、学級活動、規則正しい生活の意識付け 集団活動、集会活動、学級活動、「共生」の意識付け	3	
II 思いやりの心 たくましい心	互いに認め合い、切磋琢磨し合いながら安心した学校生活を送り豊かな人間性を育もうとしている。	おおむね良好	良好	3 豊かな体験活動	(4) 仲間と分かち合う五大祭での感動や達成感	見通しのある活動計画、一人ひとりの支援の充実、生徒相互の関わり合いの充実	4	
				4 心が和む学校生活	(5) ふるさとキャリア体験での充実感 (6) 一人一人の居場所がある楽しい学校	社会体験の場の充実、振り返り活動の充実 教育相談の充実、いじめ調査の実施と活用		3
III 健康と体力	食や運動を通じて健康や体力への関心をもち望ましい生活習慣を形成しようとしている。	良好	良好	5 食と健康	(7) 望ましい食習慣の形成と規則正しい生活	保健委員会・給食委員会による取り組み、保健だより・給食だよりによる啓発	4	
				6 体力づくり	(8) 継続的な体力づくりの取り組み	新体力テスト結果を踏まえた授業改善、昼休みの体育館利用の奨励		3
IV 基礎学力	意欲的に授業に臨み基本的学習習慣を身に付けながら学力を向上させようとしている。	おおむね良好	おおむね良好	7 学習への取り組み	(9) 基本的学習習慣の定着	学習状況カードの活用、家庭学習や週末課題の充実、学習強調週間、教科相談	3	
				8 諸検査の状況	(10) NRT、学習状況調査等の活用	出題傾向の分析と授業への活用、計画的な回復学習指導		3
V 組織運営	教職員が重点目標を意識し主体的かつ組織的に取り組んでいる。	おおむね良好	おおむね良好	9 特活・進路指導部の取組	(11) ふるさとキャリア体験の内容の明示と充実	身に付けたい資質・能力・態度の明確化、よりよい人間関係を築く取組(グループエンカウンター等)、3年間を見通した計画的な進路学習	3	
				10 研究・学習指導部の取組	(12) 共通実践事項を明確にした授業改善の具体的な推進 (13) (分かる)+(できる)授業づくり	共通実践事項による取組(「一中スタディ」の実践、「話し合い活動の指針」の活用) 導入段階の工夫、関わり合って学ぶ場の設定と指導の工夫		3
				11 生徒指導部の取組	(14) 生徒指導の三機能を生かした積極的な生徒指導の推進	生徒指導部報、定例の情報交換、「報連相」の徹底、積極的な生徒との関わり		3
VI 保護者・地域との連携	学校への理解が浸透し保護者や地域の教育力が生かされている。	良好	良好	12 情報の受発信	(15) 学校報や通信等の充実	必要な情報を分かりやすく伝える便り・HPの工夫、校内掲示版の活用	4	
				13 地域の教育力の活用	(16) 地域人材の活用と地域活動の充実(ボランティア活動等) (17) 地域に対する愛着心を高める諸活動の実施	ふるさとキャリア教育ボランティアの募集、ボランティア活動への参加 市や地域等の行事への参加、ふるさと学習の充実(大館探訪)		4